

2018 年度文化講演会が開催されました ”世界と日本の水環境問題”をやさしく解説

講師：吉村和就氏

(グローバルウオーター・ジャパン代表、NIA 副会長)

2月16日(土)午後2時より、千葉工業大学津田沼キャンパスで恒例のNIA文化講演会が開かれました。

タイトルは「世界と日本の水環境問題」。「人口増加や地球温暖化、水資源は大丈夫なのか？ 水道法の改正、どうなる日本の水道?!」というタイムリーなテーマです。講師はグローバルウオーター・ジャパン代表でNIA副会長の吉村和就さん。国の機関の委員を兼ねるほか、著書や講演、最近ではメディア出演も多く、世界を飛び回る「水問題」の第一人者です。

会場は2号館3階の大教室。来場者とボランティアスタッフ合わせて100人が参加の中、NIA会員手綱さんの司会で始まり、崎山征雄NIA会長、宮本泰介習志野市長の挨拶に続いて講師の吉村さんが登場しました。

講演は、第一部「今、世界の水が危ない」で、世界の水不足、地球温暖化による水資源への影響、解決への国際的な取り組みなどが、第二部は「日本の水資源は大丈夫か？」で、気候変動と水資源、世界に誇れる日本の上下水道、水処理技術が、第三部「日本の水道事業のゆくえ！」で、水道事業の抱える課題(収入減、稼働率低下、老朽化、職員減)、さらに

国民の関心が深い水道法改正案の概要、民営化のメリット・デメリット、解決策が、第四部「健康と水～命の水は～」では、なぜ脳に水分が必要か、免疫力を高める水、健康を保つ水、が語られました。

難しくなりがちな話ですが、大きなスクリーンに数字やグラフを使った丁寧な説明はわかりやすく、さらに時折ジョークを交えて聴衆を沸かせる話術はさすがです。さらに、テレビ出演の際のエピソードをビデオも使って紹介するなど、聴衆を飽きさせません。またたく間に過ぎた1時間半。まとめの「安全な水なくして未来なし」の言葉で終了。身近な「水」について学び、楽しめたひとときになりました。

講演終了後、受付で吉村さんは著書『続・水を語る』を、寄付をしてくださったかた一人ひとりにサインとともに手渡し。言葉を交わすテーブルは笑顔に包まれていました。サインを待つ希望者で長い列もできていました。吉村さんは「長時間にわたり熱心に聴講、また多くの方がメモを取っていたことに深く感謝します」と述べていました。

(報告：広報青年部会 秋山勝)



大画面の映像を使ってわかりやすい解説



講演後、サイン会で参加者と交流